

平成30年10月16日 話題事項

平成30年8月22日 資料提供済

「『世界津波の日』2018 高校生サミット in 和歌山」  
を開催します。

今年、10月31日(水)及び11月1日(木)に「『世界津波の日』2018 高校生サミット in 和歌山」を下記のとおり開催します。

記

- ◇開催日 2018年10月31日(水)～11月1日(木)  
◇会場 和歌山ビッグホエール(和歌山市手平2丁目1-1)  
◇参加者 487名 ※高校生議長2名を含む。

区分		予定人数	区分		予定人数
国内参加者	参加人数	187名	海外参加者	参加人数	300名
	(高校生)	135名		(高校生)	250名
	(引率)	52名		(引率)	50名
	参加校数	49校		参加国数	48か国

◇スケジュール

日時		プログラム
10月31日(水)	午後	開会式、記念植樹・記念碑除幕式、分科会
	夕刻	レセプション(会場:ダイワロイネットホテル和歌山)
11月1日(木)	午前	分科会
	午後	津波防災講演会、総会・閉会式

- ◇高校生議長 中井 充歩(なかい みつほ)(和歌山県立日高高等学校3年)  
伊森 安美(いもり あみ)(和歌山県立串本古座高等学校2年)

- ◇ホームページ <https://www.tsunami2018wakayama.telewaka.tv/>



お問い合わせ	
担当課室	世界津波の日高校生サミット推進室
担当者	宮坂・江原
電話	073-441-2702

# 「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山

～「稲むらの火」発祥の地で濱口梧陵の精神を共に学ぶ～

開催概要

## — 開催概要 —

### ■ 名 称

「世界津波の日」 2018 高校生サミット in 和歌山

～「稲むらの火」発祥の地で濱口梧陵の精神を共に学ぶ～

### ■ 開催趣旨

11月5日の「世界津波の日」は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、2015年12月の国連総会において、日本が提唱し、我が国をはじめ142か国が共同提案を行い、全会一致で採択されたものです。

この日が「世界津波の日」とされたのは、安政元年（1854年）11月5日、安政南海地震による津波が現在の和歌山県広川町を襲った際、和歌山県の先人である濱口梧陵が稲むらに火をつけ、津波から逃げ遅れた村人を高台へ導いて、多くの命を救った故事にちなんだものです。

濱口梧陵は村人の命を救っただけでなく、その後、村人を雇い莫大な私財を投じて村の再生を支援し、将来の津波に備えて堤防を築きました。この堤防は昭和21年12月の昭和南海地震による津波の被害を最小限に抑えました。

これら「稲むらの火」の故事は、防災について考えるべき3つの要素、①人命救助、②地域の復興、③将来の防災能力を高めること、を全て含んでいます。

地震津波などの自然災害から住民の命を守るためには、世界各地で防災の知見と災害の脅威への深い認識の下、必要な防災、減災、迅速な復旧復興、国際連携に資する施策を総合的かつ計画的に実行することが重要です。

このため、地震津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーを育成することを目的とした「世界津波の日」高校生サミットが創設され、一昨年は高知県で、昨年は沖縄県で開催されてきたところです。高知県においては、30か国の高校生が参加し、「黒潮宣言」が採択されました。沖縄県においては、島しょ国を中心とした26か国の高校生が参加し、「若き津波防災大使ノート」がとりまとめられました。

和歌山県では、津波予測システムを活用した緊急速報メールによる避難の呼びかけや避難場所安全レベルの設定など、先進的な津波対策とともに、毎年、直近の大災害の分析も加えて津波防災講演会を開催し、県民の津波防災意識の向上に努めています。また、一昨年、国において創設された濱口梧陵国際賞受賞者の本県招聘等を通じ、「稲むらの火」の故事を全世界に広めるよう努めています。

濱口梧陵が生まれ活躍した舞台である和歌山県は、「稲むらの火」発祥の地として、今後も「世界津波の日」制定の由来となった濱口梧陵の精神を全世界に発信し、次世代に過去の災害の教訓を伝えることで、津波防災意識をさらに向上させていきます。過去2回の高校生サミット開催の精神を受け継ぎ、本年は「世界津波の日」ゆかりの地である和歌山県に日本を含む世界各国の高校生を招き、防災分野における将来のリーダーを育成するとともに、災害から世界中の人々の命を守ることを目的に「世界津波の日」2018高校生サミット in 和歌山を開催します。

■ 主 催 和歌山県、和歌山県教育委員会、広川町、広川町教育委員会

■ 共 催 国連国際防災戦略事務局（UNISDR）駐日事務所

■ 後 援 国土強靱化推進本部、内閣府政策統括官（防災担当）、外務省、  
文部科学省、国土交通省、気象庁、経済協力開発機構（OECD）、  
東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）、国立大学法人 和歌山大学、JICA

- **開催日** 2018年10月31日(水)～11月1日(木)
- **会場** 和歌山ビッグホエール(和歌山市手平2丁目1-1)  
ダイワロイネットホテル和歌山(和歌山市七番丁26-1)
- **参加者** 487名 ※ 高校生議長2名を含む。

区分		予定人数	区分		予定人数
国内参加者	参加人数	187名	海外参加者	参加人数	300名
	(高校生)	135名		(高校生)	250名
	(引率)	52名		(引率)	50名
	参加校数	49校		参加国数	48か国

- **使用言語** 英語

- **スケジュール**

日時		プログラム
10月31日(水)	午後	開会式、記念植樹・記念碑除幕式、分科会
	夕刻	レセプション
11月1日(木)	午前	分科会
	午後	津波防災講演会、総会・閉会式

※ なお、海外参加者は以下のプログラムにも参加。

日時	プログラム
10月28日(日)	稲むらの火祭り
10月29日(月)	スタディツアー ・県内高校生との防災学習 ・稲むらの火の館、津波避難用高台視察、列車からの高台避難訓練等
10月30日(火)	

- **全体テーマ**

災害から命を守る ～「稲むらの火」発祥の地、和歌山で濱口梧陵の精神を共に学ぶ～

- **分科会分野**

- ① 災害について知識を得る 過去の災害からの学び、先人の教え、災害のメカニズムや被害想定等
- ② 災害に備え意識を高める 学校や住まいの防災・減災対策、防災意識の向上、防災訓練等
- ③ 災害から生き抜く 避難行動、安否確認、情報収集、避難所運営、復旧・復興等

- **ホームページ**

<https://www.tsunami2018wakayama.telewaka.tv/>



## ■ 国内参加高校一覧

国内高校生135名、引率52名（49校）

番号	都道府県	区分	学 校 名
1	北海道	公立	北海道浦河高等学校
2	北海道	私立	学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校
3	岩手県	公立	岩手県立釜石高等学校
4	岩手県	公立	岩手県立宮古工業高等学校
5	岩手県	私立	学校法人龍澤学館 盛岡中央高等学校
6	宮城県	公立	宮城県仙台第一高等学校
7	宮城県	公立	宮城県多賀城高等学校
8	栃木県	公立	栃木県立佐野高等学校
9	埼玉県	公立	埼玉県立不動岡高等学校
10	千葉県	公立	千葉市立稲毛高等学校
11	東京都	国立	東京学芸大学附属国際中等教育学校
12	東京都	私立	学校法人富士見丘学園 富士見丘中学校高等学校
13	神奈川県	公立	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
14	静岡県	公立	静岡県立池新田高等学校
15	静岡県	公立	静岡県立裾野高等学校
16	京都府	私立	学校法人立命館 立命館高等学校
17	大阪府	国立	大阪教育大学附属高等学校平野校舎
18	大阪府	公立	大阪府立西成高等学校
19	大阪府	私立	学校法人大阪学園 大阪高等学校
20	大阪府	私立	学校法人関西学院 関西学院千里国際高等部
21	大阪府	私立	学校法人創価学園 関西創価高等学校
22	兵庫県	国立	神戸大学附属中等教育学校
23	兵庫県	公立	兵庫県立尼崎小田高等学校
24	兵庫県	公立	兵庫県立舞子高等学校
25	奈良県	公立	奈良県立畝傍高等学校
26	奈良県	私立	学校法人西大和学園 西大和学園中学校・高等学校
27	和歌山県	公立	和歌山県立海南高等学校
28	和歌山県	公立	和歌山県立串本古座高等学校
29	和歌山県	公立	和歌山県立新宮高等学校
30	和歌山県	公立	和歌山県立星林高等学校
31	和歌山県	公立	和歌山県立耐久高等学校
32	和歌山県	公立	和歌山県立田辺高等学校
33	和歌山県	公立	和歌山県立橋本高等学校
34	和歌山県	公立	和歌山県立日高高等学校
35	和歌山県	私立	智辯学園和歌山高等学校
36	岡山県	公立	岡山県立井原高等学校
37	広島県	公立	広島県立広島中学校・広島高等学校
38	徳島県	公立	徳島県立城南高等学校
39	愛媛県	公立	愛媛県立宇和島東高等学校
40	愛媛県	公立	愛媛県立西条高等学校
41	高知県	公立	高知県立清水高等学校
42	高知県	公立	高知県立中村高等学校
43	高知県	公立	高知県立嶺北高等学校
44	高知県	私立	学校法人土佐塾学園 土佐塾高等学校
45	高知県	私立	学校法人明德義塾 明德義塾高等学校
46	福岡県	私立	学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム 明治学園中学校・高等学校
47	熊本県	公立	熊本県立天草高等学校
48	熊本県	公立	熊本県立済々黌高等学校
49	大分県	公立	大分県立佐伯鶴城高等学校

## ■ 海外参加国・参加高校一覧

海外高校生250名、引率50名（48か国、66校）

番号	国名	学校名
1	アルゼンチン	Normal School "Juan Garcia de Cossio"
2	オーストラリア	Broome Senior High School
3	ブラジル	School for Basic Education Professor João Widemann
4	ブルネイ	Maktab Duli Pengiran Muda Al-Muhtadee Billah College
5	カンボジア	KEO POSH
6	カナダ	Alberni District Secondary School
7	チリ	Colegio Arica College
8	中国	Cuiying Middle School of Jimo Qingdao
9	コモロ	Said Mohamed Cheick
		Le Phare
		Mougini Baraka
10	クック諸島	Tereora College
		Nukutere College
		Titikaveka College
		Papaaroa Adventish School
		Rysensteen Gymnasium
11	デンマーク	Koro Island High School
12	フィジー	2ND GENERAL LYCEUM AGGELOS SIKELIANOS
13	ギリシア	Government Higher Secondary School, Akkaraipettai
14	インド	Panchayat Union Middle School, Keechankuppam
		SMAN 2 Banda Aceh
15	インドネシア	King George The fifth and Elaine Bernacchi School
16	キリバス	Vientiane high school
17	ラオス	Sekolah Menengah Sains Tengku Muhammad Faris Petra, Kelantan
18	マレーシア	Ahmadhiyya International School
19	モルジブ	Centre for Higher Secondary Education
		Billabong High International School
		Laura High School
20	マーシャル	University of guerrero
21	メキシコ	Outer Islands High School
22	ミクロネシア	Mongolian-Russian joint school 3
23	モンゴル	Primary,Middle and High School No.6 of skhubaatar district in Ulaanbaatar
		No.2 Basic Education High School, Laputta
24	ミャンマー	Nauru Secondary School
25	ナウル	Mahendrodaya Secondary School
26	ネパール	Madi Secondary School
		Sahid Smriti Awasiya Secondary School
		Janata Secondary School
		Laligurans Batika Secondary School
		Motherland School
		Heretaunga College
27	ニュージーランド	Upper Hutt College
		Niue High School
28	ニウエ	Palau Mission Academy
29	パラオ	Port Moresby National High School
30	パプアニューギニア	Colegio Japonés Paraguay
31	パラグアイ	Colegio Mixto Público Nacional Callao
32	ペルー	Bienvenido Guillera Celebre National High School
33	フィリピン	Escola Secundária Ferreira Dias Aqualva-Sintra
34	ポルトガル	Incheon Daegun High School
35	大韓民国	St. Mary's College
36	サモア	Temasek Junior College
37	シンガポール	White River Community High school
38	ソロモン	IES Belén
39	スベイン	Rahula College
		Sujatha Vidyalaya
		Richmond College, Galle
40	スリランカ	Koh yao wittaya school
41	タイ	Tonga High School
42	トンガ	ISTANBUL ATATURK FEN LISESI
43	トルコ	Motufoua Secondary School
44	ツバル	WAI'ANAE HIGH SCHOOL
45	米国	Central School
46	バヌアツ	COLEGIO SAN JOSE HH MARISTAS
47	ベネズエラ	Yen Hoa
		Cau Giay
48	ベトナム	

## ◇その他、「世界津波の日」関連主要行事

### 1 稲むらの火祭り(10月28日／広川町)

濱口梧陵の偉業を学び、地震・津波への防災意識を高めるため、平成15年から開催  
参加者は松明を持ち、史実に沿って広八幡神社まで行進  
今年度は、「世界津波の日」2018高校生サミット in 和歌山の海外招聘者も参加

### 2 若き津波防災大使スタディツアー(10月29日、30日／広川町、美浜町、那智勝浦町 他)

「世界津波の日」2018高校生サミット in 和歌山に参加する世界49か国の高校生と県内高校生との防災学習を通じた国際交流等を実施

### 3 「世界津波の日」地震・津波避難訓練(11月1日／県内全域)

「世界津波の日」の趣旨を伝え、津波防災の意識を高めるとともに、適切な避難行動の定着を図るため、県内全市町村において、地震・津波避難訓練を実施

### 4 石油コンビナート等総合防災訓練(11月2日／海南市)

地震発生時において、石油コンビナート区域で発生する可能性がある災害に対処するため、石油コンビナート事業者と防災関係機関が連携して総合防災訓練を実施

### 5 海外女性(UNITAR)<sup>ユニタール</sup>の津波防災に関する女性のリーダーシップ研修 (11月2日～5日／和歌山市、広川町 他)

「世界津波の日」制定を契機に、UNITAR(国連訓練調査研究所) 広島事務所による津波防災に関する海外女性管理職者を対象とした研修を開催

### 6 津浪祭(11月5日／広川町)

安政南海地震の津波により犠牲となった人々の霊を慰め、また、濱口梧陵の偉業を後世に語り継ぐため、犠牲者の50回忌となる1903年から開催され、100年以上実施

### 7 近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(11月9、10日／福井県)

大規模災害の発生に備え、広域的な防災体制の充実・強化を図るため、近畿2府7県の緊急消防援助隊や防災関係機関が合同訓練を実施

### 8 湯浅町津波避難訓練(11月11日／湯浅町)

津波防災の意識を高めるとともに、適切な避難行動の定着に向けて、普及啓発及び内閣府と連携した訓練を実施

### 9 濱口梧陵国際賞授賞式・記念講演会(11月上旬／東京都)

「世界津波の日」に関連した国際賞として、平成28年度に創設され、本年度は3回目。  
沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人または団体を表彰

受賞者の決定後、受賞者の意向に応じて、授賞式・記念講演会の日以降の日程で本県(広川町)への招聘を予定

※ 和歌山県(危機管理・消防課)が主催ではない行事も含まれます。

取材等を希望される場合には、各行事の窓口をご案内いたします。

お問い合わせ	
担当課室	危機管理・消防課
担当者	東山・菅野
電話	073-441-2273